

毛糸のおっぱいプロジェクト



ニュースレター VOL.5

2016年1月～2018年4月の活動報告

2018年5月発行 事務局/とも子助産院
仙台市泉区野村字野村 95-6 022-772-5960

東日本大震災をきっかけに始まった当プロジェクトも8年目を迎えます。「とりあえず、3年はやろう!」と手探りで開始しましたが、2018年の現在も、なんとか続けることができます。ご購入してくだる皆様と、さまざまな事務作業を分担してくれているボランティアスタッフたちのおかげです。感謝、感謝、感謝です。

3.11. の後も自然災害は頻発しており、突然、大事な人をなくしたり、避難生活を余儀なくされたり、生活が一瞬にして一変してしまった被災者の皆様のことを思い、災害のニュースを見聞きするたびに、心がザワザワします。穏やかな日常に戻る日が早いことを願います。

被災者・支援者と二分されがちですが、気仙沼の編み手さんも、赤ちゃんとお母さんを応援する母乳育児支援者でもあります。被災高齢者としてお世話になるばかりでは、気詰まりなものですが、「あむあむおっぴ」を編むおばあちゃんたちは、「自分の作品が、どこかのママや赤ちゃんの役にたっている!」ということが、誇りです。そしてまた、「自分で稼いだお金」というのも格別で、キラキラしています。

本当にささやかな事業ではありますが、大津波から復興中の街、気仙沼で暮らす高齢女性の生きがい・仕事づくりの事業として、これからも「毛糸のおっぱいプロジェクト」を継続していきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いします。



伊藤朋子

どんなママたちと会えるかなあ〜
わくわく!



メッセージありがとうございます

ありがとうございます
大切にします。

ありがとうございます。
想像以上に可愛らしいです。

ぶじに届きました!
色味もかわいらしくて
ステキです。活用せ
いでいただきます。ありが
とうございます!

ありがとう
ございます!

マニキュアで
使用します。

らいんなっぷ

あむあむおっぴ	2,160円
ミニおっぴ	1,296円
あむあむちゃん	8,640円
おっぴストラップ	540円
送料(全国一律)	800円



ご注文方法

「毛糸のおっぱいプロジェクト」
ホームページからご注文いただけます。
<http://www.tomo-j.jp/keitonooppai>



委託販売しませんか?

イベント・学習会などおっぴの販売を
ご希望の方は事務局へお問い合わせください。
(1回につき30個以上預かっていただき、売り上
げの20%を委託料としてお支払いいたします。)

BASE 販売サイトでは
クレジットカードもご利用いただけます。
<https://keitonoopp.official.ec/>



気仙沼の編み手さん訪問記



イースター島の石のモアイ像

だいぶ春らしくなってきた3月の土曜日、とも子助産院の朋子さん家族とともに気仙沼の編み手さんをたずねました。

助産院のある仙台から気仙沼までは車で約3時間。編み手さんオススメの復興商店街でランチ休憩をとりながら三陸道を北上します。

震災後に仮設商店街としてオープンした南三陸さんさん商店街は、2017年3月3日に本設オープン。ブランドグルメ「三陸キラキラ丼」を一度食べてみたかったので嬉しい寄り道です。新鮮な海の幸はもちろん、素敵なカフェやスイーツのお店も！空が広い、海も山も近い、とても気持ちのよい商店街です。ゆったりできるイートインスペースやイベントの開催、キュートな案内板など楽しいデザイン・・・いたるところにお客様をむかえる温かさを感じて長居したくなりました。が、目的は気仙沼。南三陸からは1時間くらいです。



春待ちキラキラ丼



建物も看板もセンスいい！



タコが美味しいよ！



南三陸伝統の神棚飾り「きりこ」デザインのあかり



この手からおびが生まれています！

そして編み手さんTさん宅へ到着。おみやげに持参した毛糸をお渡ししました。太さや柔らかさ、肌触りや出来上がりの感じを指先ですぐにわかってしまうTさん。さすがです。

ご家族のお話、近況などお話ししたあと、有人離島、大島へつながらる工事の橋を見に行くことになりました。Tさん宅の周りはずっと商店街でしたが今は工事事務所のプレハブ、重機置き場、工事現場、何も無い平地・・・が道路沿いに続きます。コンビニが数件。(震災から7年たってもこの状況。生活の場を整えるとはどういうことかと頭の中がぐるぐるします。)

橋が見える小高い丘。「みんなここに登って避難したのよ。ここで、手をのびたけれど届かなかった、という話も聞くわ。」



国道沿いはこんな景色ばかり。



Tさん宅もかわいらしい作品がたくさん！

それからTさんのお姉さんでもある編み手さんSさん宅へ。「80過ぎるといろんなとこ(身体)だめねえ〜。」ニコニコしながら「80すぎないほうがいいわよ」なんておっしゃいます。かぶら飯やわかめの煮物など美味しい手料理をいただきました。耳は遠いですが、和裁や編み物の仕事を受け、素敵な作品をつくっていらっしゃいます。

お話を伺って、家族や兄弟姉妹っていいな、と温かい気持ちになったり、周りの環境にせつなくなったりしました。大事な親戚のおばちゃんのように。

不思議なご縁でつながった編み手さんたちと生まれたあむあむおび。

この方たちがつくるからこそ、大事に届けたいなとあらためて思いました。

忘れないでケロ！



Sさんギャラリー 手前は娘さんの刺繍の作品